

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 145 号 2010.5.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 今年のお茶摘み

### 三六九会のお茶摘み

5月15日(土)、埼玉県入間市にある三六九会の茶畑のお茶摘みに参加しました。

今年は春になっても寒い日が続き、各地で作物への影響があったとのニュースを何度も聞きましたが、三六九会の畑でも、当初5月9日に行う予定が、急きょ一週間ほどお茶摘みを遅らせることになりました。

しかし、結果的に茶葉はちょうどよい伸び具合で、事前の剪定作業もうまくできていたため、機械刈りでも枝などがあまり入らず、よい刈り取りができたようです。去年は少し摘み残しがありましたが、今年はきれいに摘み取れました。「ここ5~6年で一番摘みがいいがあった」「年々摘み方がうまくなっているのでは」との声も聞かれました。収量は去年を上回る、119.3キロでした。また、この日は畑のそばを通りかかった11人の方に、自然農法に関するパンフレットをお渡しし、慣行農法の茶畑との色の違いなど、自然農法のことをいろいろとお話しすることができたそうです。



参加者は、上は70代の方から下は中学生まで、「初めはうまくできなかったけど、最後はうまく摘めるようになって楽しかった」「お茶の葉の天ぷらがおいしかった」などの感想があり、係の方々も「最高の一日だった」と喜んでいました。



### 市川生産グループのお茶摘み

静岡の宇佐美と長者原でも、5月14、15日の両日、市川生産グループによる茶摘みが行われました。

地主さんも毎年のように驚いているようですが、今回も14日、皆様が現地に向かう途中まで雨が降っていて、「これでは茶摘みはできず、草取りかな」と思っていたところ、なんと着くころには晴れ、葉が乾き、茶摘みができたというドラマがありました。また、翌日にも同様のことが起こり、寒さの影響で予定も延び延びになっていたため、この両日にしっかり作業でき、参加者は皆、感謝感激でした。また、寒さで霜にやられた所もありましたが、長者原の在来茶以外は被害も思ったほどではなく、地主さんの指示で、来年



宇佐美にて



長者原にて

に向け、すぐにでも剪枝作業を行うとのことです。

「晴れ渡った空の気持ちよさと、鳥のさえずり、咲き乱れるツツジ、山の景色のすばらしさの中での茶摘みは、まるで天国の中にいるようだった」、またこのあとの記事「自然農法のほうじ茶とお米のおかげ！」にも紹介していますとおり、「命を救うお茶だという思いで茶摘みをした。ここが神聖な場所に感じた」という方もいました。

大自然の恵みと、地主さんやグループの方々の愛に満ちた「市川のお茶」、今年も楽しみですね！

## 自然農法のほうじ茶とお米のおかげ！

葛飾区 服部一二美



去年の11月、小学1年の息子が、急に体中熱くなってきて、寒気がすると言い出しました。そのとき、学校でインフルエンザが流行っていたので、インフルエンザかなと思い、体温を計ると39度以上ありました。すぐに自然農法のほうじ茶を飲ませたら、飲むことができ、それからしばらく眠りました。3日間は熱が上がったり下がったりしていました。食欲はあまりなかったけれど、自然農法のほうじ茶だけは飲むことができ、とても有り難かったです。

その後、4日ほどたってから咳が出るようになり、咳がしばらく続き、食欲もなかったため、体重が減ってしまい、心配しました。息子はもともと気管が弱いので、咳が出始めると止まらなくなり、今回は今まで以上に咳が止まりませんでした。知り合いの方が心配して、自然米を分けてくださいました。さっそく息子に自然米を食べさせたところ、みるみる食欲が出てきて元気になりました。改めて、自然農法のほうじ茶と自然米の大切さを実感しました。

## 平和につながる自然農法の野菜

妙高市 斎木セイ子

主人は、農林関係の仕事で、農薬を毎日多量に使用していたのが原因と思いますが、ガンを患ってしまいました。そのころから、農薬は大変恐ろしいものと感じておりました。その後、長女を通して、岡田茂吉師の自然農法の話聞き、ぜひ無施肥無農薬の野菜を作りたいと思いました。

平成15年度から、新潟県妙高市の600坪ほどの畑で、自然農法を実施しております。以前は肥料を畑に入れていましたが、自然農法に切り替えてからは、身体も気持ちもすっきりして、元気に野菜を作ることができ、自然のXの力を感じております。

作った野菜をお分けした方の中から「香りがあり美味しい」「煮くずれしない」「スーパーで買った野菜を食べているのと同じ、毎日元気に過ごせている」「たまに外食すると、体調をくずすようになった」、またある奥様からは、ご主人が非常に神経を使う仕事のため、緊張が続き、ストレスが溜り、イライラすることが多かったのが、「自然の野菜を頂くようになったころから、冷静に仕事ができるようになりました」などの声を頂いています。自然農法の作物を食すと、人間が非常に平和的になると教えていただいておりますが、まさにその通りだと実感しました。

自然農法の実践ができ、大変有り難く、感謝しております。これからも健康で、自然農法を続けたいと思います。

参考：農薬の害について、5月18日の「朝日新聞」夕刊に「米ハーバード大などの研究チームが、有機リン系の農薬を低濃度でも摂取した子どもは注意欠陥・多動性障害(ADHD)になりやすいとの研究結果をまとめた」「有機リン系の農薬は日本でも使われている」との記事がありました。



## <お知らせ>

- 自然農法頒布会 6月13日(日) 東中野会場 10:00~ (売切れ次第終了)
- 自然農法頒布会 6月24日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売切れ次第終了)
- 自然農法勉強会 6月28日(月) 午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~ 別院講堂



## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産：黒豆納豆、きのこめし
- 市川生産グループ：新茶(100g 1,500円 / 1,800円)
- 長柄山自然農園：卵
- 飯塚農園：みそ よしたい農園：モチ米
- ジョリフィーユ：みかんジュースゼリー、シュークリーム、マドレーヌ、カスタードプリン ほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>